

## TICPOC D-1 コース (ピアサポートワーカー研修コース) について よくお問い合わせいただくこと

### <応募条件>

- Q 他で勤務をしている場合、応募はできますか？
- A ご応募可能です。職種や一般就労・障害者枠での就労にかかわらず、日程調整が可能であればご応募可能です。以下の「内容」をご参照の上、ご検討ください。
- Q 生活保護を受給している場合、応募できますか？
- A ご応募可能です。健康診断・各種ワクチン接種・東大病院までの交通費等は自己負担となります。
- Q 応募の際に、他者の推薦や許可は必要ですか？
- A ご自身の意思によりご応募していただけます。主治医への許可や相談等は自由です。ご応募についても推薦書や診断書は必要ありません。

### <内容>

- Q D-1 コースの特徴・理念について、他のピアサポートワーカー養成との違いは何ですか？ 研修で目指す人材像はありますか？
- A 本コースでは約1年間をかけて(主に英国・米国で体系化されている)リカバリーやピアサポートの理念を共に学び、ディスカッションを通して他者理解・自己理解を深めること、実習があることが特徴です。特定の目指す人材像はございません。その人の強みを活かしていただけるようサポートさせていただきます。医療機関での研修ではありますが障害福祉サービス分野で働きたい方も対象として含んでいます。
- Q 講座・実習実施は平日ですか？ 曜日の相談はできますか？
- A 講座・実習実施は平日となります。  
(週1回～2週に1回、1回につき2時間程度。曜日は応相談)
- 2020～2022年度はオンラインで講座を実施していますが、新型コロナウイルス感染症の終息の状況によっては(講座実施時に)東大病院に来ていただくこととなります。尚、実習時期については週2～3回程度東大病院に来ていただく事となります。

それらに加え、講座受講のレポート作成や振り返りの実施等もあります。予め、研修生のご都合等を伺い、講座開催日時や実習実施日時の調整をします。但し運営都合上、主に水～金が多くなる可能性があります。

Q 遠方からのオンライン参加は可能ですか？

A オンラインによる講義については、ご参加可能です。

新型コロナウイルス感染症の終息状況によって、登院いただいた上で院内会議室での開催となります。なお、実習は東大病院に来ていただく必要があります。

Q 来年度は実習がどのくらいできそうですか？

A 現在は、規定の時間数(年間 70 時間)を目指して計画していますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況に依存します。

Q 教科書はありますか？ 予習はできますか？

A 特に教科書はありません。講座毎に資料をお配りしています。それを用いた予習・復習等は可能かと思えます。

Q ピアサポートワーカーや支援職としての実践経験があり、そこで葛藤を感じていますが、そのようなことも議論できますか？

A 講座や振り返りなどで、今までのご経験・葛藤について可能な範囲で共有いただき、参加者とお話し深め合うことができます。

Q 実習に際しての旅費や滞在費用は運営側から出るのでしょうか？

A 旅費や滞在費用は受講生ご自身でご負担頂く形となります。

Q 研修生になった場合は担当スタッフがつくのでしょうか？

A 担当チューター制度はなく、D-I コーススタッフ複数名が受講生皆さんに関わらせていただきます。デイケアや福祉事業所等で利用者の方に担当スタッフの方が個別に関わられるような、いわゆる担当制はとっていないです。

Q 参加する研修生は緊張したり、挫折したりすることがあると思う。特に体調管理について心配がある。その辺りはどのような感じでしょうか？

A 多くの方が同じように緊張や不安を感じると思います。自分自身の緊張や体調管理等についても、約一年間の学びの中で、自分を知るという学びにつなげることを意図していますが、予めご心配な点やご自身の対処法を教えていただいたり、対処法について一緒に考えたりすることも可能です。

Q 講座に一度や二度、出席できないことがあるかもしれない。そのときはどうなるのでしょうか？

A 補講(ただし講座そのものではなく、要点のみ)や、欠席された回のサポートをさせていただきます。

Q 一年間の中で仕事をもちながら研修を受けるというのはどのようにやりくりすればいいのでしょうか？

A これまでの研修生の中にも仕事と研修を並行して続けられた方はいらっしゃる、職場の理解を得た上で、勤務調整などされていたようです。特に実習期間中は、まとまったお休みをとっていただけるとよいと思います。レポートなどは、講座直後やお仕事のある日の前後、お仕事がお休みの日などに作成・提出いただいています。

Q 自分の経験を共有したりすることは大事だと思っています。その際の、コミュニケーションを身に着けるような講座はあるのでしょうか？

A コミュニケーションについて、講座内で扱ったり、ロールプレイを行ったりすることもあります。コミュニケーションに関する連続講座（集中的な講座）を行うというような対応はございません。ご自身が関心を持つ学びの会への参加など、積極的な自己学習を推奨しています。

### <応募書類の郵送方法>

Q 郵送方法は、普通郵便でもよいですか。

可能です。応募書類がきちんと届くかについてご不安がある方は、追跡サービス（特定記録郵便、レターパックライトなど）を利用していただくことも可能です。

### <合否連絡>

Q 合否はいつ頃わかりますか？

A 1次選考の合否通知の郵送時期は2月初旬を予定しています。  
また、1次選考合格者のみ、日程調整の上、2次面接を実施します。

### <コース修了後>

Q 雇用の斡旋等がありますか？

A 本コース終了後、雇用の斡旋はしていません。但し、求人情報等が入った場合には、お知らせすることが可能です。

Q 1年間の研修終了後にブラッシュアップ等の学びの場の用意はありますか？

A 現時点でブラッシュアップの講座は設けておりませんが、修了生には翌年度以降も本コースにご参加していただくことが可能です（ご都合の良いときに任意参加）。